

専門・認定薬剤師特論

責 任 者・コーディネーター		臨床薬学講座地域医療薬学分野 松浦 誠 教授 臨床薬学講座臨床薬剤学分野 朝賀純一 准教授	
担当分野・学科(分野)		臨床薬学講座地域医療薬学分野、臨床薬学講座臨床薬剤学分野、薬科学講座天然物化学分野	
対象学年	6	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義 18時間(9コマ)
期間	前期		
単位数	1単位		

・学修方針（講義概要等）

自己のキャリアビジョンとしての薬剤師像をより精緻に構築するために、専門薬剤師や認定薬剤師の資格取得に至るまでの体系的な教育・研修プロセスおよび資格取得後に求められる専門的職能や実務的役割を理解する。あわせて、臨床領域における高度薬学管理、医療チーム内での専門的役割分担、患者個別性を踏まえた薬物療法最適化など、専門・認定薬剤師が果たすべき学術的かつ実践的貢献について多角的に学ぶことで、専門職としてのコンピテンシー形成に資する思考様式・判断基準を涵養し、必要な資質や卒業後のキャリア形成と生涯学習の意義を考察する。

・教育成果（アウトカム）

1. キャリアパスの体系的理解

- 1) 専門薬剤師・認定薬剤師の各制度における認定要件（実務経験、講習会受講、症例報告、試験等）を列挙し、取得までの体系的なプロセスを説明できる。
- 2) 各専門領域（がん、精神科、感染症、緩和ケア等）における専門・認定薬剤師の具体的な職能と、一般薬剤師との役割の違いを概説できる。
- 3) 生涯学習の仕組み（各種学会、e-ラーニング、研修認定薬剤師制度等）を理解し、継続的な自己研鑽の必要性について自己の言葉で述べるができる。

2. 高度薬学管理の実践的視点

- 1) 臨床現場における複雑な症例に対し、専門的知見から患者個別性を考慮した薬物療法最適化（処方設計の支援や副作用モニタリング）のプロセスを立案できる。
- 2) 多職種連携（チーム医療）において、薬剤師が専門性を発揮すべき局面を特定し、他の医療従事者に対する適切な情報提供や提案の在り方をシミュレーションできる。
- 3) 学術的なエビデンスを実務に統合し、臨床疑問（Clinical Question）を解決するための論理的な思考様式を提示できる。

3. プロフェッショナリズムと自己形成

- 1) 自身の興味・関心や適性を踏まえ、将来目指すべき薬剤師像（キャリアビジョン）を具体的なロードマップとして構築できる。
- 2) 地域医療におけるパラダイムシフトを理解し、地域医療や在宅医療も含めた幅広いフィールドにおける専門職としての社会的責任を考察できる。
- 3) 変化し続ける医療環境（AIの活用や制度改革等）に適応し、常に最善の医療を提供しようとする生涯学習者としての姿勢を具現化できる。

（ディプロマ・ポリシー：1.4.5.6.7.8.9.10）

・到達目標（SBO）

1. 日本における専門薬剤師・認定薬剤師制度について概説できる。（☆）
2. がん領域の専門薬剤師・認定薬剤師取得のプロセスとその役割について説明できる。（☆）
3. 感染制御領域の専門薬剤師・認定薬剤師取得のプロセスとその役割について説明できる。（☆）
4. 緩和ケア領域の専門薬剤師・認定薬剤師取得のプロセスとその役割について説明できる。（☆）
5. 在宅療養支援認定薬剤師取得のプロセスとその役割について説明できる。（☆）
6. 麻薬教育認定薬剤師取得のプロセスとその役割について説明できる。（☆）
7. 漢方・生薬領域の認定薬剤師取得のプロセスとその役割について説明できる。（☆）
8. 医療通訳者取得のプロセスと薬剤師が医療通訳者となることの意義について説明できる。（☆）
9. 米国における専門薬剤師・認定薬剤師制度について概説できる。（☆）

・講義日程

（（矢）西 103 1-C 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
4/6	月	4	地域医療薬学分野	松 浦 誠 教 授	日本における専門薬剤師・認定薬剤師制度（総論） 1.専門薬剤師・認定薬剤師の役割について概説できる。 【双方向授業】【ICT (GoogleForms)】 事前学修：教科書および事前講義資料を用いて講義ポートフォリオの課題について取り組み、講義内容について調べておくこと。 事後学修：講義資料を用いて講義内容についてまとめる。
4/14	火	4	地域医療薬学分野	松 浦 誠 教 授 及川 はるか 非常勤講師（岩手県立釜石病院）	がん領域の専門薬剤師・認定薬剤師の実際 1. がん専門薬剤師の役割の役割について概説できる。 【双方向授業】【ICT (GoogleForms)】 事前学修：教科書および事前講義資料を用いて講義ポートフォリオの課題について取り組み、講義内容について調べておくこと。 事後学修：講義資料を用いて講義内容についてまとめる。
4/15	水	3	地域医療薬学分野	松 浦 誠 教 授 城戸 直人 非常勤講師（岩手県立胆沢病院）	感染制御領域の専門薬剤師・認定薬剤師の実際 1. 感染制御認定薬剤師の役割について概説できる。 【双方向授業】【ICT (GoogleForms)】 事前学修：教科書および事前講義資料を用いて講義ポートフォリオの課題について取り組み、講義内容について調べておくこと。

					事後学修：講義資料を用いて講義内容についてまとめる。
4/17	金	4	地域医療薬学分野	松浦 誠 教授 松葉 智哉 非常勤講師（岩手県立二戸病院）	緩和ケア領域の専門薬剤師・認定薬剤師の実際 1. 緩和ケア認定薬剤師の役割について概説できる。 【双方向授業】【ICT (GoogleForms)】 事前学修：教科書および事前講義資料を用いて講義ポートフォリオの課題について取り組み、講義内容について調べておくこと。 事後学修：講義資料を用いて講義内容についてまとめる。
4/21	火	2	地域医療薬学分野	松浦 誠 教授 平山 智宏非常勤講師（スタイル薬局）	在宅療養支援認定薬剤師の実際 1 在宅療養支援認定薬剤師の役割について概説できる。 【双方向授業】【ICT (GoogleForms)】 事前学修：教科書および事前講義資料を用いて講義ポートフォリオの課題について取り組み、講義内容について調べておくこと。 事後学修：講義資料を用いて講義内容についてまとめる。
4/23	木	4	地域医療薬学分野	松浦 誠 教授 石原 泰子 非常勤講師（倉敷中央病院薬剤部）	麻薬教育認定薬剤師の実際 1 麻薬教育認定薬剤師の役割について概説できる。 【双方向授業】【ICT (GoogleForms)】 事前学修：教科書および事前講義資料を用いて講義ポートフォリオの課題について取り組み、講義内容について調べておくこと。 事後学修：講義資料を用いて講義内容についてまとめる。
4/28	火	4	天然物化学分野	浅野 孝 助教	漢方・生薬領域の認定薬剤師の実際 1. 漢方・生薬認定薬剤師の役割について概説できる。 【双方向授業】【ICT (GoogleForms)】 事前学修：教科書および事前講義資料を用いて講義ポートフォリオの課題について取り組み、講義内容について調べておくこと。 事後学修：講義資料を用いて講義内容についてまとめる。

5/1	金	4	地域医療薬学分野	松浦 誠 教授 木村恵子 非常勤 講師（山形大学附 属病院）	医療通訳者としての薬剤師の実際 1. 医療通訳者としての薬剤師の役割 について概説できる。 【双方向授業】【ICT (GoogleForms)】 事前学修：教科書および事前講義資料 を用いて講義ポートフォリオの課題に ついて取り組み、講義内容について調 べておくこと。 事後学修：講義資料を用いて講義内容 についてまとめる。
5/8	金	3	地域医療薬学分野	松浦 誠 教授	米国における専門薬剤師・認定薬剤師 制度（総論） 1. Board of Pharmacy Specialties:BPS の役割について概説できる。 【双方向授業】【ICT (GoogleForms)】 事前学修：教科書および事前講義資料 を用いて講義ポートフォリオの課題に ついて取り組み、講義内容について調 べておくこと。 事後学修：講義資料を用いて講義内容 についてまとめる。

・成績評価方法

総括評価：講義ポートフォリオは事前・事後学修内容について「知識の構造化（整理）」と「自己省察（振り返り）」の質をルーブリック評価形式にて評価する（50%）、定期試験（MCQ50%）

・特記事項・その他

・予習復習のポイント

＜事前学修・事後学修のポイント＞

- ①事前学修については講義内容について事前に配布される講義ポートフォリオの課題について取り組む。
- ②事後学修は講義ポートフォリオの振り返りを中心に予習内容、授業内容の要点・課題について講義資料を用いて整理し授業内容について理解できるようにすること。これらの学修には事前学修 60 分、事後学修に 60 分を要する。更に定期試験前には 10 時間程度の総復習時間を確保する必要がある。
- ③講義はスライドを用いて行う。講義で使用するハンドアウトは当該講義時に印刷媒体で配布する。
- ④授業終了時にスマートフォン等で QR コードを読み取り Google Forms に開設したフォームに必要事項を解答することで出欠確認とする。このフォームには自由記載欄があり、講師への質問や要望を伝えることができるようになっており、適宜フィードバックする。インターネット接続および QR コード読取可能なスマートフォンあるいはその類いを準備すること。
- ⑤講義ポートフォリオの評価項目は①事前学修の取り組み内容②事後学修の要点整理③振り返りを観点とし、別に定めるルーブリック評価評価表に基づき、各項目について S,A,B,D の 4 段階で評価する。
- ⑥定期試験については定期試験終了後に Moodle 等の ICT を活用してフィードバックする。
- ⑦当該科目に関連する実務経験の有無 有

岩手県内の総合病院および大学病院における薬剤師の実務経験を有する教員が、講義内容に関連する実践的な教育を事例提示しながら行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン（Apple MacBookAir）	1	資料作成、スライド投影のため
講義	タブレット端末（機種は問わない）	1	講義資料（PDF 形式）閲覧のため
講義	スマートフォン（機種は問わない）	1	講義終了時の小テストおよび出欠回答のため